



小林 剛 議員

質問

消防団の運営について

答弁

消防団役員とも話し合い、より良い運営を図る

小林議員の質問動画



議員

消防団の定数と現在の団員数について伺う。

市長公室長

団員定数を472名と定め、実団員数は398名、うち女性団員が12名で充足率が85%である。

議員

人口が、常総市合併時から約8千人減少している。定数の見直しは考えているか。

市長公室長

消防団の定数削減は士気が低下する恐れがあり、現在は考えていない。

議員

消防団の成り手不足は、団員の不満や、入団に踏み切れない方の本音を聞けていないのではないかと仕事をしながら、地域のために活動する新入団員に中古の活動服を支給するとはいかがなものか。

市長公室長

新入団員への活動服については、着回しをお願いしている現状であるため、検討していきたい。

議員

定員不足が住民への負担増とな

っていることを把握しているか。

市長公室長

消防後援会費のことならば、御意見を頂き把握している。地域住民の負担が軽減できるよう消防団と話し合いを進めていきたい。

議員

現在、団員の報酬や活動手当を運営費に充てているが、運営費、団員世帯交付金を出している自治体もある。団員の報酬は労苦に報いるためのものであって、全額上納は公費を一時的にためておくことになる。総務省は警告している。定数、機能別消防団員を充足するよう条例改正が必要ではないか。

市長公室長

消防団、特に本部団員と十分話し合い、より良い団運営を図る。

議員

常総市は防災先進都市を目指している。団員不足解消策を当市から発信できないか。

市長

消防団は、地域防災の要であり、機能別消防団員や定員問題を含め、団員の皆さんと共に模索し結果を出していきたい。



坂巻 文夫 議員

質問

常総市のまちづくりについて

答弁

地域性にあった運営組織づくりのあり方を検討していく

坂巻議員の質問動画



議員

近年、「まちづくり協議会」という組織を立ち上げ、地域の課題を住民自ら解決する組織作りを行っている自治体がある。市では、こういう動きがあることを知っているか。

市長公室長

全国的に小学校区や中学校区単位の規模で「まちづくり協議会」等の『地域運営協議会』を設立する動きが広がっている。目的は、迫りくる人口減少社会に対応した住みやすい地域を地域住民自らが作り上げていくというもので、当市でも昨年度から調査・研究を行っている。

議員

市で行っている『地域運営組織』の調査・研究とは具体的にどのような取り組みか。

市長公室長

地域の現状把握を行うため、自治区長や民生委員宅を訪問し、地域が抱える現状と将来に向けた課題等の話を伺っている。また、すでに『地域運営組織』を組織化している自治体に向いて、その経

議員

人口減少社会に対応するために、住民自ら地域運営することは良い考えだが、すぐに新しい組織を作るといった考えには少々疑問を感じる。地域には各々の歴史があり、地域ごとに取り組みや考え方も違う。私の地元では、今でも自治区を越えた旧小学校区単位での集まりを定期的に行っている。地域運営のあり方については、市だけでなく、自治区長や地域住民と膝を交え、一緒に考えてもらいたい。

まずは、そういう話し合いのできる「場づくり」から始めてほしい。

議員

【その他の質問】
★立地適正化計画について尋ねる

